



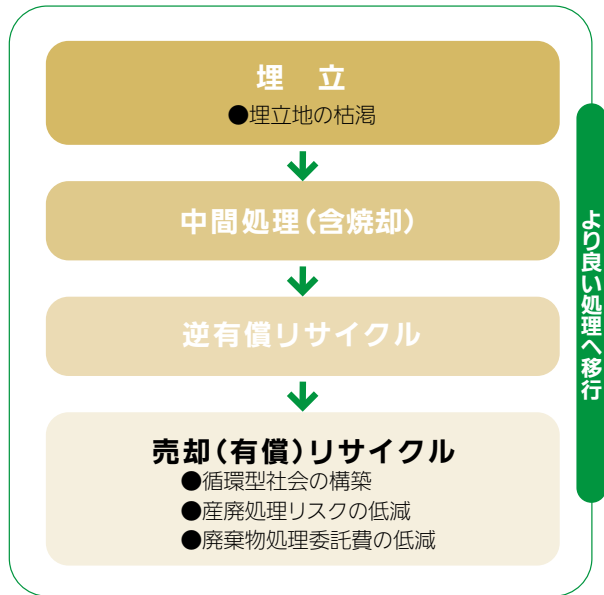
廃棄物低減・リサイクル活動

リデュース・リサイクル・リユースの3Rで 資源の有効活用、廃棄物削減を進めています。

直接埋立廃棄物については2002年度にゼロエミッションを達成し、その継続に努めています。中間処理廃棄物についても当初目標・2010年度中期目標をクリアすることができました。今後も更なる資源の有効利用や、リサイクルの拡大を目指して取り組みます。

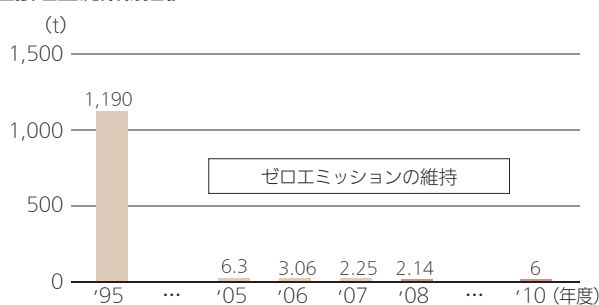
2007年度の活動実績

2007年度は、昨年度より継続して当社から排出される廃棄物の再調査を行い、処理方法の検討と分別を徹底することで、より積極的なリサイクル活動を行いました。その結果、2002年度にゼロエミッション（当社基準で95年度比95%減）を達成している直接埋立廃棄物について、昨年実績より更に排出量を削減することができました。また、目標を前倒しで達成している中間処理廃棄物の削減についても引き続きその精度を高め、リサイクル業者の開拓など積極的な取り組みを続けています。

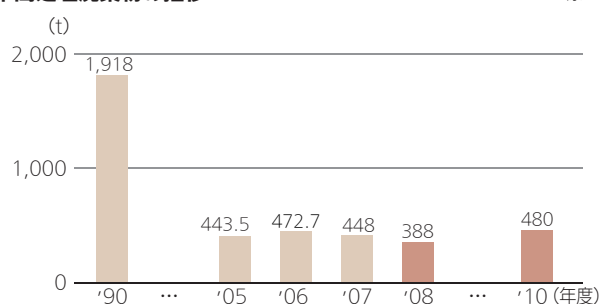


廃棄物の分別の徹底と処理業者の開拓を行い、『より良い処理への移行』を推進。

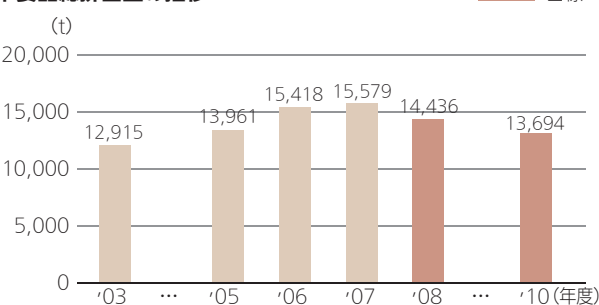
■直接埋立廃棄物推移



■中間処理廃棄物の推移



■不要品総排出量の推移



■主な取り組み事項

直接埋立廃棄物の低減

- 生産工程より発生する埋立廃棄物の再調査
- 廃棄物の徹底分別

中間処理廃棄物の低減

- 紙くず分別の徹底
- 有償リサイクル(売却)化の実施
- リサイクル業者の開拓

不要品総排出量の低減

- 廃棄物の現状調査→低減目標の設定

中期目標
直接埋立廃棄物 99.5%減 2010年度末95年度比
中間処理廃棄物 75%減 2010年度末90年度比
不要品総排出量 (有償+逆有償+廃棄物) +6%以下 2010年度末03年度比



有償リサイクルの推進

最も理想的な廃棄物処理の形といえる有償(売却)リサイクルを進めるために、廃棄物の分別の徹底と処理業者の開拓を進めています。これにより廃棄物処理に伴うリスクを低減するとともに、廃棄物処理にかかるコストカットも実現します。2007年度は、より広範囲にわたって有償リサイクル化を進めました。

※ECミラー(自動防眩ミラー)
光を感知するセンサーにより、映る光量に応じて自動的に鏡の反射率を調整する機能をもったミラー。

主な有償リサイクルの事例

項目	売却量(kg)
はんだスラッジ(はんだくず)より、はんだの抽出	117,804
廃非鉄金属の再資源化	11,432
はんだ付着ケースの付着はんだの再資源化	3,873
廃基板くずの銅の抽出で再資源化	69,642
廃鉛物性廃油の再資源化	6,500
廃プラスチック(PBT破砕材)の再資源化	136,440
廃プラスチックの再資源化	56,609
廃製品の再資源化	8,513
ショットブラスト(ECミラー※)より、レア金属の抽出	208
清掃くず(ECミラー※)より、レア金属の抽出	0
受電電池より、再資源化	65
廃棄物からの売却への合計重量	411,086

レア金属付着物の回収・リサイクル化

従来、埋立廃棄物として処理していたショット粒※の割合が多くなり、その発生源を調査したところ、製品にレア金属(希少金属)を蒸着する工程で使用する治具の清掃をするのに、ショットブラスト※を使用していたことがわかりました。さらに調査を進めると、治具を清掃するのに使用したショット粒にも相当量のレア金属が付着していることがわかりました。そこで、使用済みのショット粒よりレア金属の回収の可否を確認し、有償リサイクル化を進めました。

また、レア金属の蒸着設備周辺のゴミにもレア金属が含まれていることがわかったため、そちらの回収・有償リサイクル化も同様に進めています。

※ショット粒
ガラス粒、鋼粒など。

※ショットブラスト
ショットを空圧または遠心力にて加速し、これを加工面に衝突させて行う吹付加工の内で、研削作用を目的とする処理。



▲レア金属付着のショット粒



▲レア金属付着の蒸着設備清掃ゴミ